

平成 27 年度 実施事業

平成 27 年 5 月 岐阜大学国際交流助成



新たな学術交流協定

パリ第11大学(フランス)と締結
 本年3月24日(13日付)に、パリ第11大学(フランス)との学術交流協定を締結しました。これにより、本学の大学院生がパリ第11大学へ短期留学し、2ヶ月間の学術交流を実施することになりました。

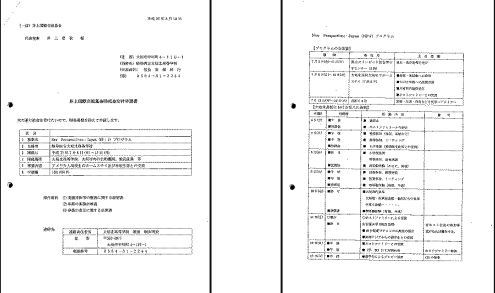
工学部及び応用生物科学部が、インド工科大学グワハティ(インド)など10大学と締結
 本年3月24日(13日付)に、工学部及び応用生物科学部が、インド工科大学グワハティ(インド)など10大学と学術交流協定を締結しました。これにより、本学の大学院生がインド工科大学グワハティ(インド)など10大学へ短期留学し、2ヶ月間の学術交流を実施することになりました。

協定相手大学
 パリ第11大学(フランス) 工学部及び応用生物科学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部及び応用生物科学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部
 インド工科大学グワハティ(インド) 工学部



岐阜大学では、外国人留学生への奨学金、短期留学(派遣)学生への奨学金、優秀学生の長期海外派遣、サマースクール等外国人留学生短期受入事業、研究者交流助成等、国際交流推進事業を行っております。昨年4月には、国際交流による人材育成を促進することで地域産業、ひいては地域社会の発展に寄与することを目標に掲げ、「グローバル推進本部」を発足しました。当財団は、このような活動に賛同し助成を行いました。(助成金 100,000 円)

平成 27 年 5 月 岐阜県立大垣北高等学校 NP:J プログラム助成



岐阜県立大垣北高等学校は、7/6~13の期間、アメリカ人高校生を招き、授業・部活動参加、市内観光、ホストファミリー交流を通して、異文化理解、日米の相互理解促進、柔軟性や適応能力の育成を目指した活動を行いました。当財団は、このような事業に賛同し助成を行いました。(助成金 100,000 円)

平成 27 年 8 月 モンゴルバドミントンチーム・垂井町バドミントン少年団 国際交流会助成



垂井町バドミントン少年団は、競技を通して国際交流による青少年の育成を図ることを目的に、8/21~27の期間、モンゴルバドミントン協会を招待されました。歓迎式典を行った後、合同練習、日本の文化を知っていただくための活動をされました。当財団は、このような事業に賛同し助成を行いました。(助成金 100,000 円)

平成 27 年 10 月 大垣市立東中学校吹奏楽部 定期演奏会助成



大垣東中学校吹奏楽部第 24 回定期演奏会に対して助成(地域活性化事業)を行いました。たくさんの保護者、地域の皆様を前に演奏し、地域の方々との交流が行われました。(大垣市民会館大ホールにて)
(助成金 100,000 円)

平成 27 年 12 月 岐阜県立大垣北高等学校 海外フィールドワーク (ベトナム・カンボジア訪問) 助成



文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)である岐阜県立大垣北高等学校は、今年も 12 月に生徒 32 名がカンボジアを訪問し、現地の学生とのコミュニケーション実践、また海外進出している地元企業がどのように企業運営に取り組んでいるのか、アンコール小児病院やルエル寺子屋など現地事例を実際に目で見て、体験することにより課題解決への意欲や実践力を身に付ける活動をされました。当財団は、このような事業に賛同し助成を行いました。(助成金 100,000)

平成28年2月 カンボジア訪問

訪問先 カンボジア シェムリアップ クアトップチェイ小学校

日程 平成28年2月2日～2月6日

- 訪問目的
1. 学校設備増設に向け、クアトップチェイ小学校の現状把握
 2. 施工業者の選定のため、現地で施工業者と面談、施工業者の実績確認、及び見積依頼
 3. 衣類、文具などをクアトップチェイ小学校に寄贈
 4. 日本紹介、交流活動
 5. アンコール小児病院を訪問し、井戸建設状況の確認



校舎、井戸、トイレ、食堂など既設の設備は十分活用されていた。必要なものとして先生たちがミーティングを行えるような職員室、図書館と手洗場が挙げられました。また、バッテリー充電のための発電機の要望もありました。



前回撮影した写真をアルバムにして各クラスに配布し、名前や年齢などを調査し、顔と名前が分るようにしました。また、日本の行事として「節分」を紹介し、生徒の皆さんの健康を祈念し豆まきを行いました。



クアトップチェイ小学校の生徒たちに、衣類や文具などの寄贈を行いました。

アンコール小児病院を訪問し、井戸建設募金の意義をお話しし今後も有効活用をしていただけるようお願いしました。

学校設備増設については、より良い学校になるよう今回お聞きした内容に加え、前回の反省や他団体が建設した学校も参考にして仕様を詰めていきます。また、今後は手洗いや清掃、整理整頓などの教育も行っていきたいと思います。